

各 位

上場会社名	株式会社 セキチュー
代表者	代表取締役社長 関口 忠
(コード番号)	9976)
問合せ先責任者	経理部長 金田 和宏
(TEL)	027-345-1111)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり平成23年2月期において特別損失の計上を行いましたのでお知らせするとともに、これに伴い平成22年12月24日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,500	100	400	△50	△4.49
今回修正予想(B)	37,448	38	346	△986	△88.54
増減額(B-A)	△52	△62	△54	△936	
増減率(%)	△0.1	△62.0	△13.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年2月期)	40,196	211	487	230	20.66

修正の理由

1. 特別損失の計上及びその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の所有するホームセンター4店舗について、収益性の低下等により減損の兆候が見られたため、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、帳簿価額が回収可能価額を上回るものについて帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(936,058千円)として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正理由

景気は、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費は依然として厳しい状況にあり、売上高は前回予想を下回る見込であります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少とともに、競合店との価格競争、顧客の低価格志向等による売上総利益率の低下、売上総利益の減少を販売費及び一般管理費の削減で補いきれず前回予想を下回る見込となりました。

当期純損益につきましては、上記減損損失の計上により当期純損失986百万円となり、前回予想を下回る見込であります。

以 上